



# < C 級公認審判員チェックリスト >

試合前、確認チェック☑

特に課題とする項目に○

終了後でできた項目☑

◆大会への参加			
○ 審判会議、代表者会議に参加し、申し合わせ事項等の共通理解を図る			
○ 大会審判員としての自覚を持つこと。常に見られていることを忘れないこと			
◆試合前			
3)両レフェリー、TD が立ち合いのもとトスを実施			
3)メンバー表、登録証、(試合開始前の)公式記録用紙の確認			
4)ユニホームの確認(濃淡・デザインがはっきりしたもの:チーム同士、レフェリーウェアとチーム)			
4)チーム役員のウェアの確認(相手チームのコートプレイヤーと重複していないか)			
5)ウォーミングアップは、選手と共にペアで行う			
6)ゴールやゴールネット、ボールの点検(事前に)			
7)オフィシャルとの連携(業務の確認、得点、罰則、時間の管理について)			
◆試合開始前			
8)メンバーチェックを登録証とともに行う			
9)選手入場・挨拶の後、両チーム役員やオフィシャルと挨拶			
◆試合中			
得点の管理、時間の管理			
10)得点の管理は出来ているか(得点のたびに確認しているか)			
10)目視による公示時計の動作確認(どちらかが、試合開始時、タイムアウト時、再開時に)			
走法と位置取り			
11)基本的な立ち位置や動きを意識しているか			
11)コートレフェリー時:判定の後に素早くポイントに移動しているか			
11)ゴールレフェリーへの移動時:バックステップを用いることなく移動しているか			
12)7m スローの際のコートレフェリー:スロアーの利き腕側・GKを観察できる位置にいるか			
判定の手順、ゼスチャー			
13)①笛 ②方向指示 ③(必要に応じて)ゼスチャー の判定の手順を守っているか			
13)正しいゼスチャーを用いているか			
立ち居振る舞い			
14)ペアで同じ種類の笛を使用しているか			
14)笛を口にくわえたまま、プレーを観察していないか			
役割分担			
15)ゴールエリアライン際の判定は、ゴールレフェリーが判定しているか			
16)ピボットプレイヤーと防御プレイヤーの攻防を、ペアで連携し観察できているか			
15)、16)について、通信機器を有効に活用できているか			
競技規則の正しい理解			
17)警告や退場を判定する際、その理由をボディランゲージを用いて大きく示しているか			
18)差し違えた場合、必ず①タイムアウト ②ペアで協議 をしているか			
◆試合終了後			
19)両チーム役員やオフィシャルと挨拶			
19)公式記録用紙に正しく記入されているか確認後、サイン			
20)大会審判長や他のレフェリーへ助言を求める			
20)審判手帳に担当試合を記載し、審判長に捺印をお願いする			

